

ハンガリーで、**アフリカ豚コレラ**の発生が**確認**されました!!

口蹄疫と同様に家畜衛生上極めて重要な越境性動物疾病である**アフリカ豚コレラ**は、2007年以降、ロシアや欧州において発生が継続しており、東アジア地域への侵入リスクが高い状況にあります。

2017年には、ロシアのイルクーツク州やクラスノヤルスク地方のモンゴルとの国境付近で本病の発生が確認され、2018年4月に、ハンガリーでも本病の発生が初めて確認されました。

飼養衛生管理基準の再確認を！！

豚及びいのししの飼養農家の皆様には、飼養衛生管理基準に基づき、**生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理(摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上)が適切に行われたものを用いる**ようお願いします。

また、家畜伝染病の発生地域への渡航を**可能な限り自粛**し、海外渡航者が農場に立ち入らないように注意する、農場訪問者の記録を行うなど**飼養衛生管理基準遵守の再徹底**をお願いします。

※**消毒及び衛生管理区域への病原体持ち込みの防止の再徹底**

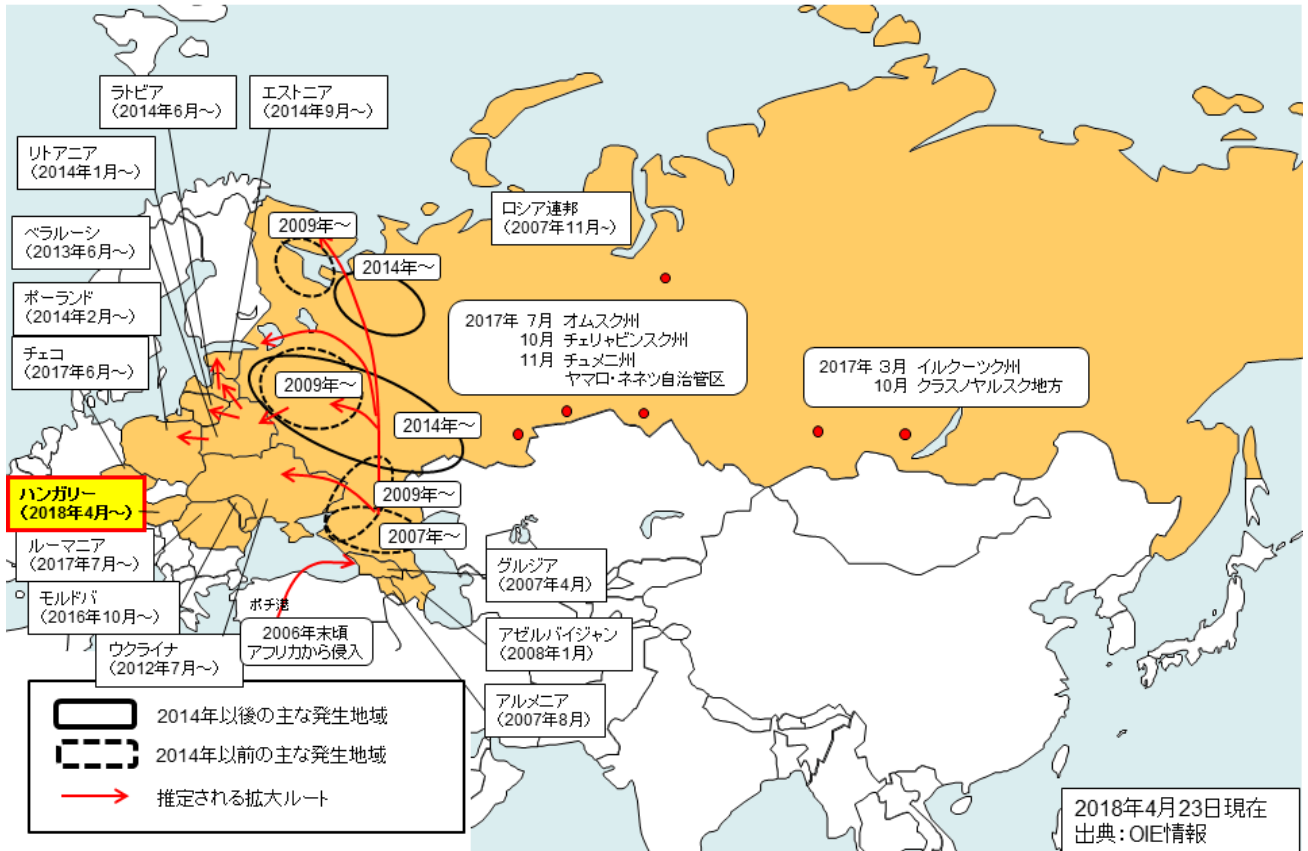
- ①衛生管理区域及び畜舎への病原体持ち込みを防止するため、看板を設置する等、必要のない者が立入しないようお願いします。
- ②農場の従業員も含め衛生管理区域及び畜舎に立ち入る場合や物を持ち込む場合には、手指、靴等の消毒その他必要な措置を実施して下さい。

※**早期発見・早期通報の徹底**

毎日の健康観察を入念に行い当該症状を呈している家畜を発見した際は、家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

我が国に本病が侵入するリスクが更に高まっています！！

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年～)



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center